

ななおの夏

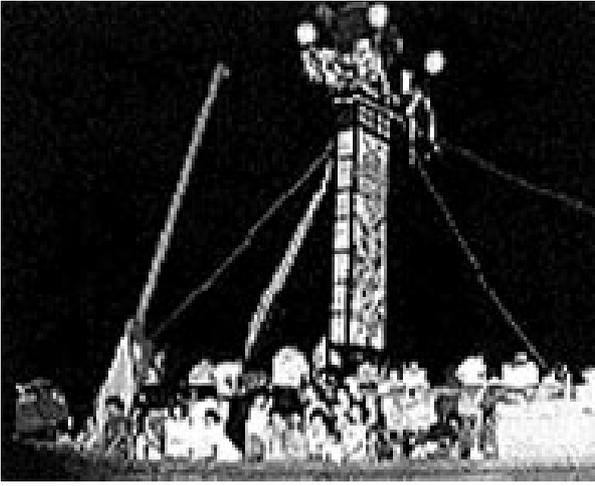
## 「祭」にふれる

七尾の夏は祭りがいっぱい、毎日のように市内のどこかで、にぎやかな鉦かねや太鼓、祭囃子まつばやしが聞こえています。

みなさんも、賑わいに参加し、伝統・歴史を学び、七尾の「祭」にふれてみませんか。

## 「塩津かがり火恋祭り」

7月23日(土) 中島町塩津



「海側の神」と「山側の神」が海の上でデートを楽しむというロマンチックな物語を秘めているのがこの祭り。奉燈みこしと神輿みこしを乗せて海上を廻るところは能登キリコ祭りの中でも異彩を放つ。海上には約2000枚の蓮はすの葉に火を載せて流し道しるべとする。海上を照らし出すその灯明は幻想的である。

## 「能登島向田の火祭り」

7月30日(土) 能登島向田町



日本3大火祭りの一つにあげられ、石川県指定無形民俗文化財に指定されている。

大小7基の奉燈が高さ約30mの大松明たいまつのをまわり、男衆が手松明を投げて大松明に点火、燃え尽きた松明の倒れた方向によりその年の豊漁、豊作を占う。

## 「石崎奉燈祭」

8月6日(土) 石崎町



能登に数多く点在するキリコ祭の中でも、最も勇壮華麗ともいわれている。

1基の奉燈は、約100人によって担ぎ上げられる。高さ10mを超す奉燈6基が狭いまちなかを乱舞する。夜には、奉燈に灯りがともり、祭は深夜遅くまで繰り広げられる。

## 「新宮納涼祭」

8月14日(日) 中島町藤瀬

中島町藤瀬に鎮座する藤津比古神社の納涼祭。

夕刻から夜半にかけてとりおこなわれ、「おあかし」と呼ばれる大小20基ほどの華麗な奉燈が「やんさこ」の祭唄にあわせて練りまわる。

静かな農村での勇壮な夏の一大イベント。



このほかにも、たくさんの祭りが開催されます。お出かけの際には、関係者の指示に従い、安全にご参加ください。